プロダクトライン開発 現在進行中

野田 夏子[1]　岸 知二[2]

概要：製品ファミリーの体系的な再利用開発であるプロダクトライン開発（SPLD）が知られるようになっておよそ 15 年がたちました。この間、その対象は組込み領域、ビジネス領域、さらに近年はシステムエンジニアリング領域まで広がろうとしています。また技術面でもモデリング技術をベースに、モデル駆動開発、形式手法の適用など様々なアプローチが用いられるようになってきました。さらにアジャイル開発、マルチプロダクトライン、動的なプロダクトライン（DSPL）など、その形態も多様化してきました。本ワークショップでは、そうした多様化した取組について、産業界、アカデミアから現状を発表いただくとともに、現状の課題、今後の方向性について、議論したいと思います。
テーマの例：アーキテクチャ、テスト・検証、要求分析、プロセス、その他プロダクトライン開発に関する技術や実践例

[1] 芝浦工業大学
[2] 早稲田大学

© 2015 Information Processing Society of Japan